

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	10	学校名	田方農業高等学校	校長名	望月 基希
------	----	-----	----------	-----	-------

1 スクール・ミッション

静岡県東部地域における農業教育の拠点校として、校訓『誠実・勤勉・自治』の下、動植物を介在した特色ある学びと、共生・共育の実践を通して、幅広い教養を身に付けるとともに、人間愛に満ちた豊かな心を育て、持続可能な社会づくりと地域産業・文化の発展に貢献する有為な人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー ※グランドデザイン (別紙参照)

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
～卒業までにこのような力を身に付けます～ ○「誠実」自己と他者の多様性を尊重し、互いを大切にする。 ○「勤勉」自分に向き合い、深く考え、実行するために、生涯にわたって学び続ける。 ○「自治」自分の能力や個性を生かして、地域や社会に貢献できる。	～このような学びを行います～ ○生命を育て食に向き合う事で、自分に向き合い、自信を持ち、未来に向かって成長する。 ○農業を学び、農業で学ぶことによって、自他の体と心と社会のウェル・ビーイング (Well-being) について考え行動する。 ○社会人として地域や社会に貢献するため、生き方、暮らし方、働き方を考える。	～このような生徒を求めます～ ○農業及び5教科の学習内容に興味と関心を持ち、将来に向かって自分の意志で考え、学び、行動できる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア (生徒が) 農業高校で学ぶ知識と技術をしっかりと体験し身に付ける。(基礎学力の定着。実験・実習を大切にする。)
- イ (生徒が) 自ら考えて、自他のために行動する力を身に付ける。
- ウ (生徒が) 将来の生き方・暮らし方・働き方を考える。(キャリア教育と進路支援の充実)
- エ (生徒が) 学校農業クラブ・生徒会・部活動によって自治を学ぶ。
- オ (生徒が) 伊豆田方分校等との「共生・共育」によって社会の多様性について学ぶ。
- カ 全ての生徒・教職員が安全で安心して学ぶことのできる場をみんなでつくる。
- キ (生徒、教職員が) 持続可能な社会をつくるために、保護者や地域社会と連携する。
- ク (教職員が) 新しい時代の価値観に沿った働き方、専門職性を修得する。

3 本年度の取組 (重点目標は**ゴシック体**で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	農業高校で学ぶ知識と技術をしっかりと体験し身に付ける。 (基礎学力の定着。実験・実習を大切にする。 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実)	○学習指導要領に沿った授業及び実験・実習の充実 (地域資源の利活用、実践的な授業等) と評価評定の実施。 ○学びの基礎診断を活用した基礎学力の定着。 ○授業改善とICT活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実。	○常に授業を大切にし、準備をして臨むことができた生徒 90%以上。 ○基礎学力が定着した生徒 90%以上、保護者 55%以上。 ○毎日の学習活動で個人端末を活用した生徒 90%以上。	農業科 教務課 (各教科) 進路課 スクール メディア課
イ	自ら考えて、自他のために行動する力を身に付ける。	○授業規律と共に、自発的・共感的な学びができる授業環境づくり。	○実験実習等で挨拶や感謝の言える生徒 95%以上。 ○自発的・積極的・粘り強く授	農業科 教務課

様式第1号

		<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書の質向上と図書館の機能の充実。 ○整理整頓・清掃を意識した教育環境づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> 業に取り組む生徒 75%以上。 ○自分の意見や考えを持ち、他者の意見を認める生徒 95%以上。 ○図書室を有効に活用できたとする生徒 30%以上。 ○整理整頓を意識し清掃が行える生徒 90%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> スクールメディア課 総務課 保健課
ウ	将来の生き方・暮らし方・働き方を考える。(キャリア教育と進路支援の充実)	<ul style="list-style-type: none"> ○進路意識を高めるHR活動等の実施。 ○多様な進路に対応する面接、小論文指導の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路意識が高まった生徒 90%以上。 ○進路支援が十分行われていると感じる生徒 90%以上、保護者 80%以上。 ○関連産業・学校に進む生徒の割合 20%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路課 各学年 農業科
エ	学校農業クラブ・生徒会・部活動によって自治を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ○リーダーの育成と生徒の主体性を育てる活動支援。 ○部活動ガイドラインに則った部活動計画の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校農業クラブ活動に積極的に関わった生徒 70%以上。 ○学校行事等を積極的に行った生徒 95%以上。 ○子供が特別活動(行事・部活・委員会等)に満足していると感じる保護者 70%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業科 生徒課
オ	伊豆田方分校等との「共生・共育」によって社会の多様性について学ぶ。(インクルーシブな学校運営モデル事業)	<ul style="list-style-type: none"> ○伊豆田方分校及び外部との交流活動を各科で計画的に実施し、共生・共育を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共生・共育の交流活動各科 3回以上。 ○講師招請を含めた地域連携活動各科 4回以上。 ○共生・共育の検証実施・活動発表 	<ul style="list-style-type: none"> 教務課 農業科
カ	全ての生徒・教職員が安全で安心して学ぶことのできる場をみんなでつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感や自己有用感を高める支援。 ○地域・家庭と連携した防災計画・訓練・教育の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校全体で特別支援教育や教育相談、通級指導の情報共有 5回以上。 ○地域防災を意識している生徒 50%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健課 相談室 総務課
キ	持続可能な社会をつくるために、保護者や地域社会と連携する。	<ul style="list-style-type: none"> ○PTA活動の充実支援。 ○地域の特性を生かした農業教育の推進。 ○学校運営協議会の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時代に即したPTA活動の在り方検討。 ○JAや地元農家・企業との連携が促進。 ○熟議が学校運営に反映したと感じる委員 100%。 	<ul style="list-style-type: none"> 総務課 農業科 管理職
ク	新しい時代の価値観に沿った働き方、専門職性を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修の充実。 ○生徒のメンターとなる働き方の実現。 ○コンプライアンス意識を徹底。 ○事案に応じた計画的な準備と経費の執行。 	<ul style="list-style-type: none"> ○専門職性向上のための研修実施。 ○ワークライフバランスと生産性向上(時差出勤の試行の活用・時間外在校時間の削減等)。 ○教職員の不祥事、体罰、交通事故 0件。 ○監査、検査の注意 0件。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修課 管理職 事務部